

濃厚で少量の農薬を安全かつ効果的に 散布する技術

研究課題名 大規模栽培成立に向けた濃厚少量散布技術の開発（平成 20～22 年度）

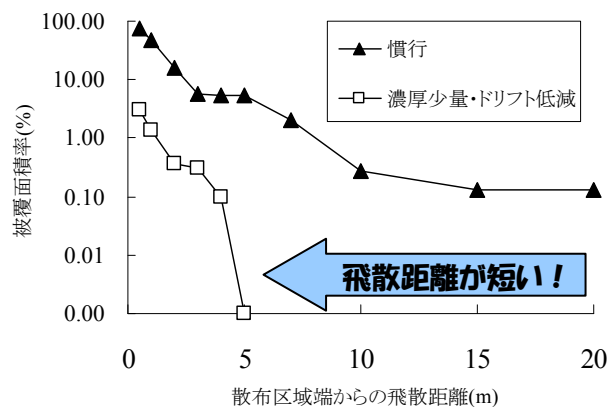
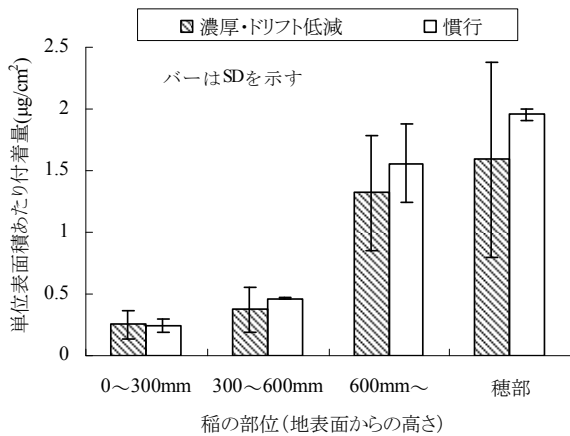
[研究のねらい]

水田の農薬散布作業に、従来よりも濃い農薬を少量だけ散布する技術（濃厚少量散布技術）がある。この技術は省力的な散布方法として利用されつつある。

一方、細かい農薬散布粒子が田畑の外に漂流飛散する現象（ドリフトと呼ぶ）が問題になっている。この対策として、慣行比 3～8 倍と非常に大きな粒の薬剤を散布し、漂流飛散を抑制できる安全な散布ノズル（ドリフト低減ノズル）が数年前から新たに登場している。

そこで本研究は、濃厚少量散布とドリフト低減ノズルの二つの技術を組み合わせ、省力で安全かつ効果的な散布技術を明らかにする。

[研究の成果]



① 濃厚少量・ドリフト低減ノズルは慣行に近い農薬付着量が得られた

② 散布区域外への農薬飛散は慣行より大幅に抑えられ、安全である



③ 濃厚少量・ドリフト低減ノズルのカメムシに対する殺虫効果は、慣行と同等の高い効果である

本成果は、農家の栽培現場ですぐに利用できるもので、今後普及を進めていく。
(経営・生産システム科 TEL0538-36-1551 e-mail:agrikeiei@pref.shizuoka.lg.jp)